


# はは歯クラブだより



No.15

長崎市鳴見台小学校

学校歯科医 行成 哲弘

こんにちは！  医療法人 ゆきなり小児・矯正歯科 です。

今回は、不正咬合のひとつ上顎前突（じょうがくぜんとつ）についての、2回目です。程度がひどい場合や、遺伝が関係している場合などは時期をみて本格的な矯正装置（マルチブラケットシステム）を使って治療します。

その 2、上顎の成長が良すぎて上顎前突になっている場合（遺伝が関係している場合が多い）には永久歯を抜いて治療することがあります。写真の症例は上の永久歯（小臼歯）を2本抜いて治療していますが、口元は改善され全ての歯でがちりと噛んでいます。



治療前



治療中



治療後（16ヶ月後）

その 3、同じように見える上顎前突でも分析してみると成り立ちが違う物もあります。上下の前歯の傾きに問題がある場合です。この場合は永久歯を抜くことなしに本格的な矯正装置（マルチブラケットシステム）を使って歯の傾きを正常に戻し、しっかりと噛める様に治療します。

かみ合わせに問題がある場合には専門医に相談するのが良いでしょう。見た目だけではなく、検査することによって正確な診断が下せますし、別の問題がわかることもあります。複数の専門医の意見を聞くことも大切です。治療の方法、装置には色々な種類があります。

（日本小児歯科学会認定小児歯科専門医 行成哲弘）

詳しくは、ホームページをご覧ください。「ゆきなり」で検索すると簡単です。

今までの「はは歯クラブだより」をホームページに掲載しています。